

私たちの未来は、自らが切り拓く

自分の「キャリア」を考える (社会学部 1. 2年生からのキャリア支援)



(1年生スマホでのキャリア支援アプリ登録の様子)



(2年生からできる就職活動の準備)講話の様子)

社会学部では、学生一人ひとりの「キャリアデザイン」の支援に力をいれています。「キャリアデザイン」とは、就職先を決めることだけではなく、「大学卒業後、どのように自分の人生を歩んでいくのか、そのためには、在学中にどんな活動をしたらよいのか」といったことを自ら考え、実行していくことです。

社会学部では、学生の皆さんに自分自身のキャリアを考えてもらうために、1年生の頃から準備をしています。卒業生との交流や3, 4年生のキャリア体験を聴くことから始め、キャリア支援担当職員や企業の人事担当の方からの講話など、様々な形で自分のキャリアを考える機会を提供しています。

このような経験を4年間積み重ねた結果、2023年度社会学部卒業生は、就職率100%を達成することができました。現在の在校生にも、自分の目指すキャリアを実現してほしいと思います。

<2023年度卒業生の就職先の一部を紹介します>

- センコー株式会社 ○津軽海峡フェリー ○東北化学薬品株式会社 ○陸上自衛隊
- 青森農業協同組合 ○生活協同組合コープあおもり ○一戸町役場
- 公益社団法人青森県介護支援専門員協会 ○社会福祉法人七峰会 等

在校生インタビュー: コミュニティ創生コース1年生 横岡美和さん(青森山田高校卒) 「人と話すことが大切だと思えるようになりました」



今回は、今年4月に社会学科 コミュニティ創生コースに入学した、横岡美和さん(青森山田高校卒業)にお話を伺いました。

4月からあつという間に過ぎました。友達ができるかどうか不安だったけれど、むつ市でのオリエンテーションがあったことで、友達もできたし、履修の方法についても丁寧に教えてくれてありがたかったです。今、サークルは「ぬい撮りサークル」と学友会に入っています。先輩もできたし、1年生のうちからやるのがあって、やりがいがあります。

大学生になって、色々な人と話す機会が増えました。またオフィスアワーを使って、先生方の研究室に言って話すこともあります。その中で、人と話すことが大切だと思えるようになりました。今は、毎日目標がありとても楽しいです。

社会学部での活動の一部をご紹介します！

青森大学 社会学部 NEWS

Faculty of Sociology

08

調理実習を行い、自炊の腕前を披露しました(1年生入門演習)



社会学科1年生の入門演習では、数クラス合同で「調理実習」を実施しました。教員の見守りのもと、メニュー決めから食材の購入、調理手順などについて自分たちで話し合い、準備から調理そして後片付けまでを協力して行いました。4月から一人暮らしを始めた学生は、料理の腕前もだいぶ上達したようで、率先して料理を行っていました。メニューは、野菜炒め、ピーマンの肉詰め、餃子やパエリア、デザートのにちごケーキなど、簡単なものから手の込んだものまで、バラエティーに富んでいました。

「これ(焼肉のたれ)、かければ絶対美味しくなる！」「もう少し炒めたほうがいいんじゃない？」「ケーキがきれいに切り分けられない・・・」「先生も食べていって」「先生、普段自分で料理するの？」など、学生同士だけではなく、教員とのおしゃべりも楽しみながら、和気あいあいと料理を楽しんでいました。

料理の腕前もそうですが、仲間と一つのことに協力して取り組む力、コミュニケーション力を身につける良い機会となりました。

授業紹介

コミュニティ創生コース：コミュニティ専門演習Ⅲ

(青森市長との対話の様子)

担当教員：佐々木淳一先生



青森大学社会学部佐々木淳一ゼミは、公務員志望や第3セクター職員、また民間企業等への就職を希望する学生に対して、地方自治体における「まちづくり」に関する諸課題等を研究し、その解決策を導き出すための演習を行っています。

毎回、様々なステークホルダーの方々をゲストスピーカーとして招聘し、ゼミ生との対論等を通じて更なる「知」を磨き上げ、ひいては、就職活動にも役立てるゼミにすべく、いつも心掛けています。